

原子力規制委員会が実施する ALPS処理水に係る海域モニタリングの 結果について

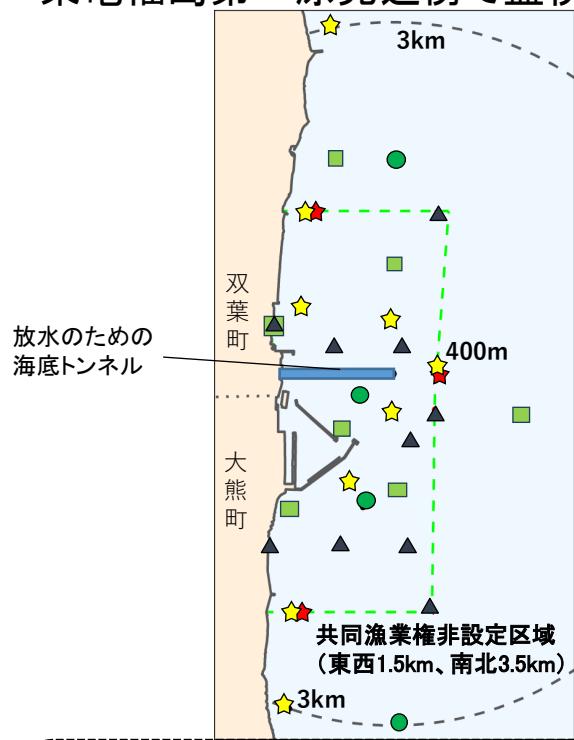
2025年12月17日

原子力規制委員会 原子力規制庁
長官官房 放射線防護グループ 監視情報課

1F近傍海域及び沖合海域におけるモニタリング測点

【近傍海域】

東電福島第一原発近傍で監視が必要な海域



<凡例>

【環境省実施】

- ★ : 海水中トリチウムの採取ポイント
- ★ : 主要7核種、その他関連核種の採取ポイント
- ★ : 海水浴場におけるトリチウムの採取ポイント

※このほか、魚類(漁業権設定区域境界上)及び海藻類(請戸漁港、富岡漁港)についてもモニタリングを実施

【原子力規制委員会実施】

- : 海水中トリチウムの採取ポイント

【東京電力実施】

- ▲ : 海水中トリチウムの主な採取ポイント

【福島県実施】

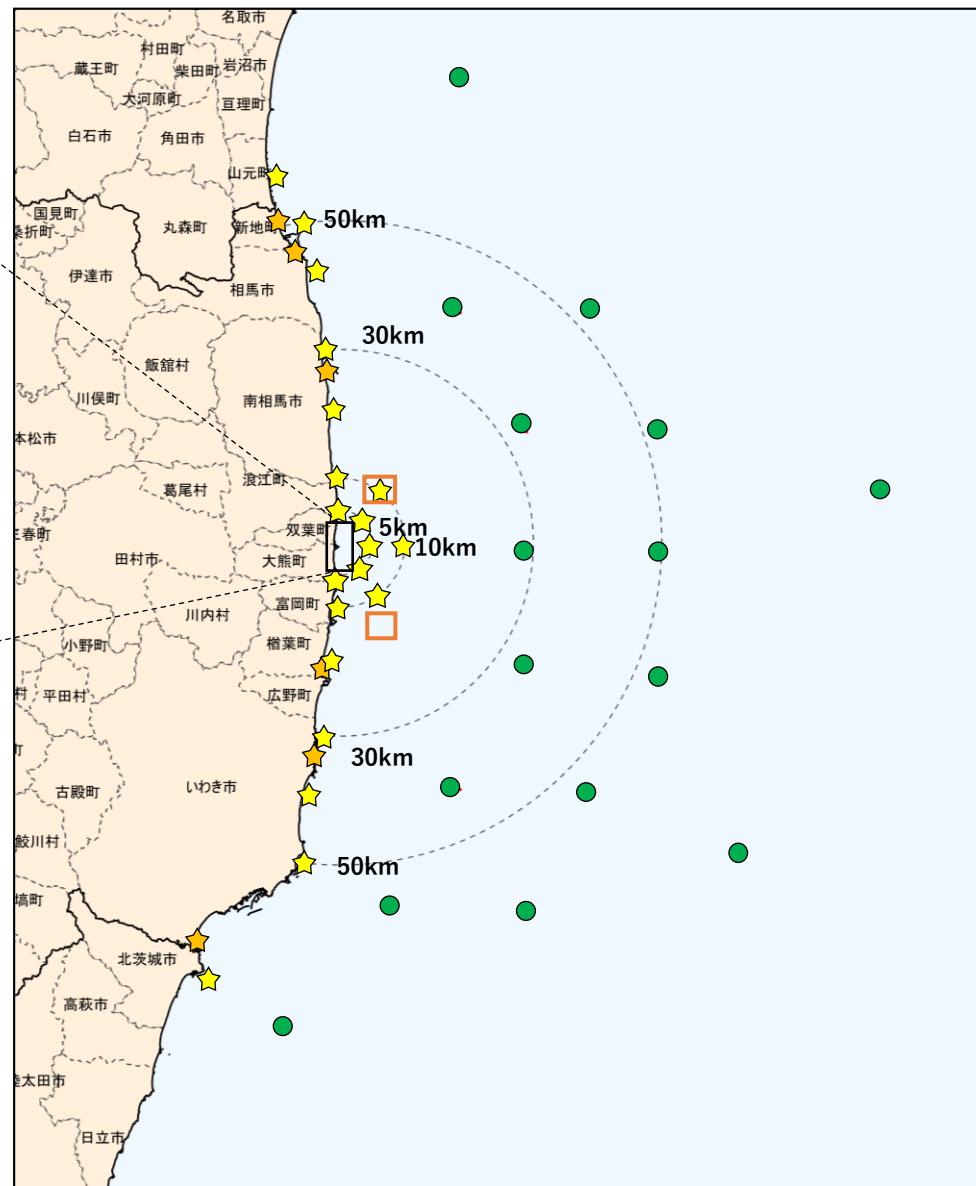
- : 海水中トリチウムの採取ポイント

【水産庁実施】

- : 水産物トリチウム迅速分析の採取ポイント

【沖合海域】

海岸線から概ね30~90kmの海域



原子力規制委員会が実施する各モニタリング測点の海水試料中トリチウム濃度

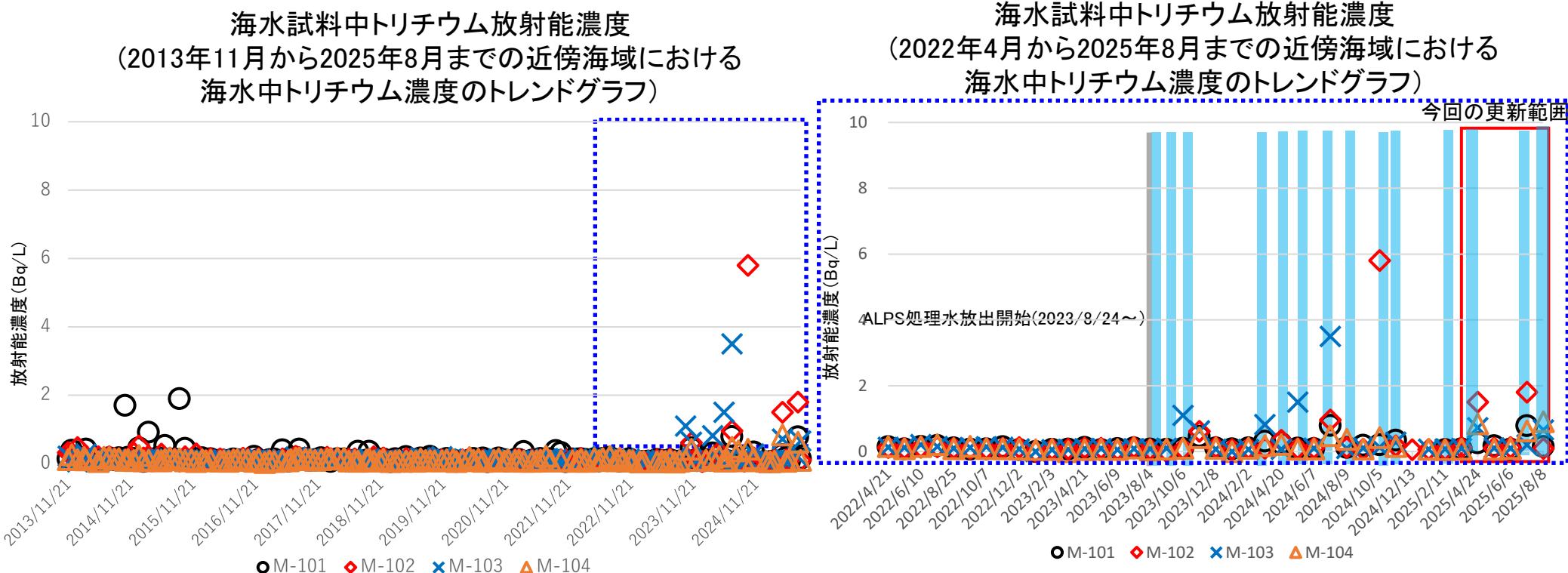
- 近傍海域における海水試料中トリチウム放射能濃度に関し、前回の会合からの測定点は図中赤枠で示した通り。ALPS処理水の放出開始後において、最大値5.8Bq/L※(M-102地点 2024年10月5日採取)を示したが、その値は人や環境に影響を及ぼすレベルではない。

- 沖合海域については、ALPS処理水の海洋放出前後でトリチウム放射能濃度は同程度であった。

※①排水に関する国の人安全規制の基準: 60,000Bq/L

②WHO飲料水ガイダンスレベル: 10,000Bq/L

③東京電力ホールディングス株式会社福島第一原子力発電所における多核種除去設備等処理水の処分に関する基本方針: 1,500Bq/L

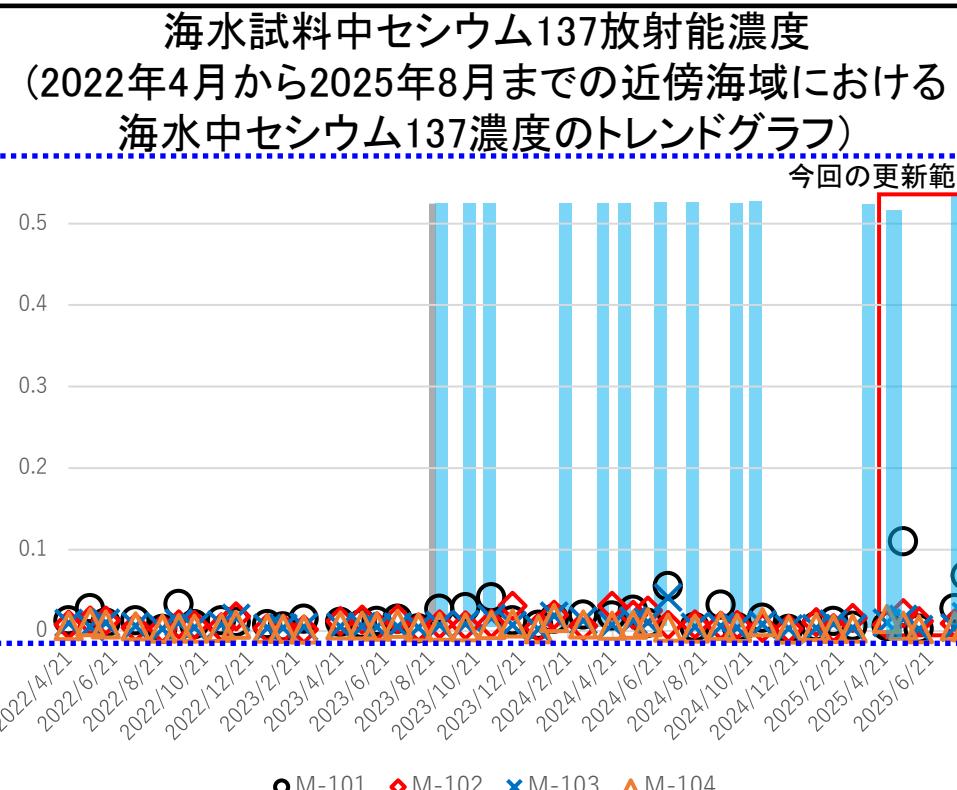
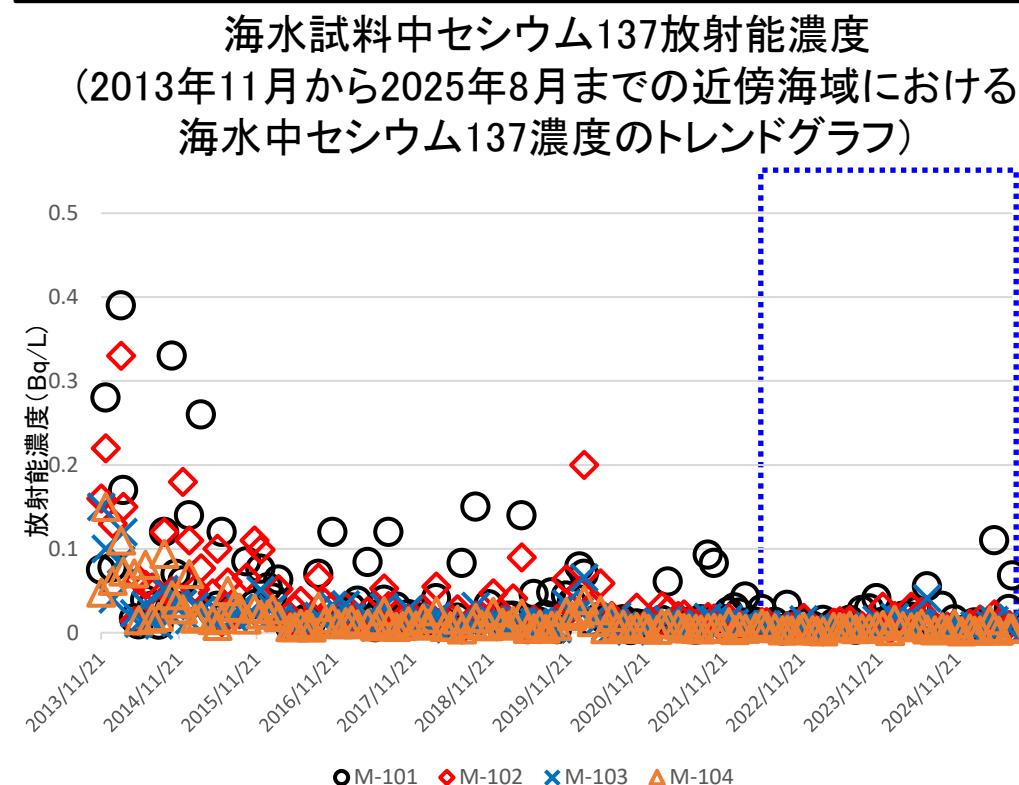


- 水色の網掛けはALPS処理水の海洋放出期間中を示す。
- 実測定の検出下限値未満のデータは含まれていない。

(参考) 原子力規制委員会が実施する各モニタリング測点の海水試料中セシウム137濃度

- 近傍海域における海水中のセシウム137放射能濃度※は、ALPS処理水の海洋放出前後で同程度であり、人や環境に影響を及ぼすレベルではない。

※排水に関する国の安全規制の基準: 90Bq/L

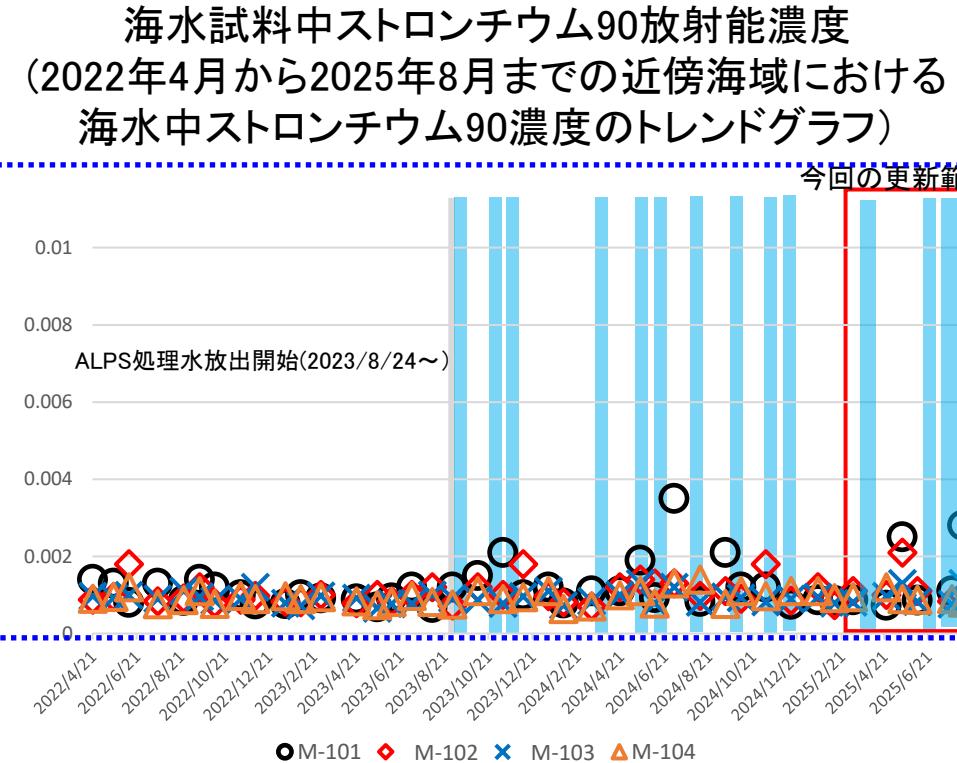
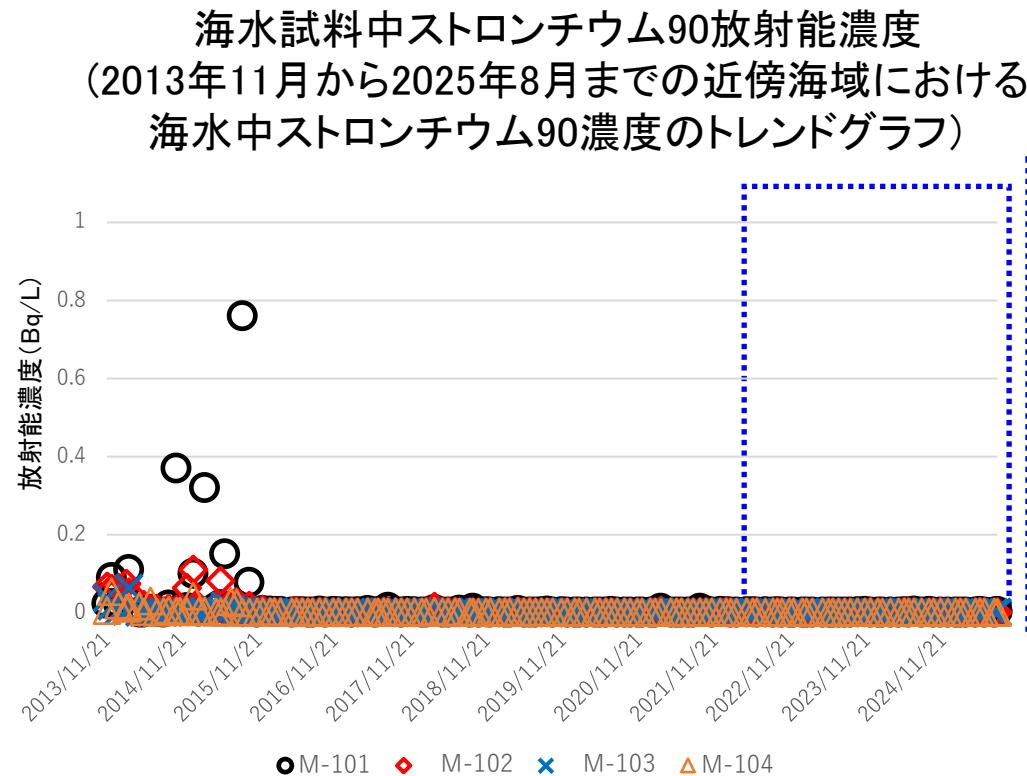


- 水色の網掛けはALPS処理水の海洋放出期間中を示す。
- 実測定の検出下限値未満のデータは含まれていない。

(参考)原子力規制委員会が実施する海水試料中ストロンチウム濃度の比較

- 近傍海域における海水中のストロンチウム90放射能濃度※は、ALPS処理水の海洋放出前後で同程度であり、人や環境に影響を及ぼすレベルではない。

※排水に関する国の人安全規制の基準: 30Bq/L



- 水色の網掛けはALPS処理水の海洋放出期間中を示す。
- 実測定の検出下限値未満のデータは含まれていない。

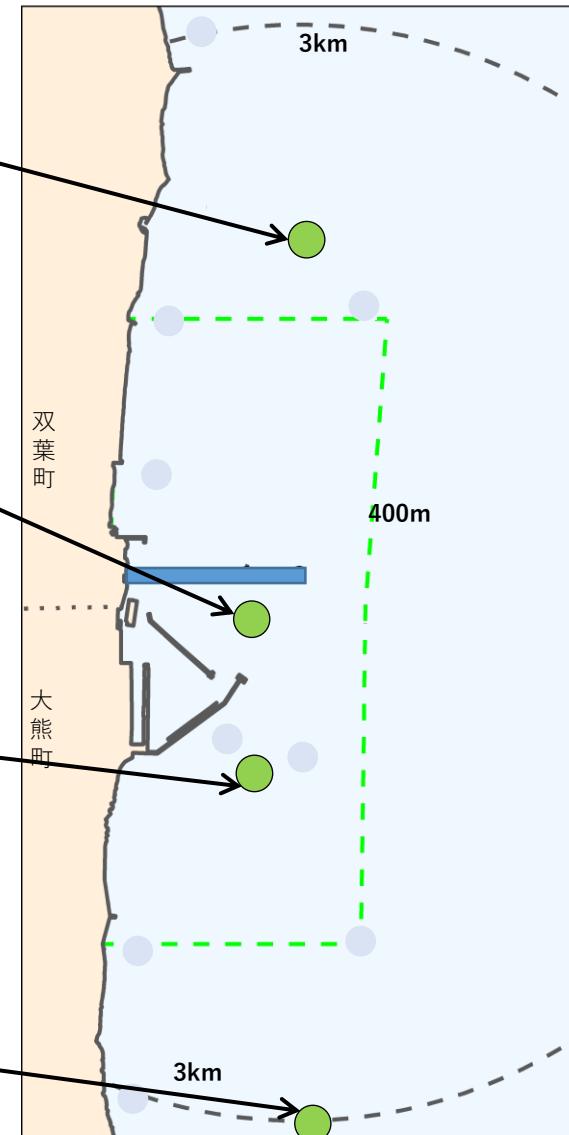
原子力規制委員会が実施する近傍海域における海水試料中トリチウム、ストロンチウム、セシウム137濃度

M-103	
H-3	0.099～0.72 Bq/L (採取期間:2025年4月24日～2025年8月8日)
Sr-90	0.00076～0.0013 Bq/L (採取期間:2025年3月8日～2025年8月8日)
Cs-137	0.0025～0.018 Bq/L (採取期間:2025年5月16日～2025年7月24日)

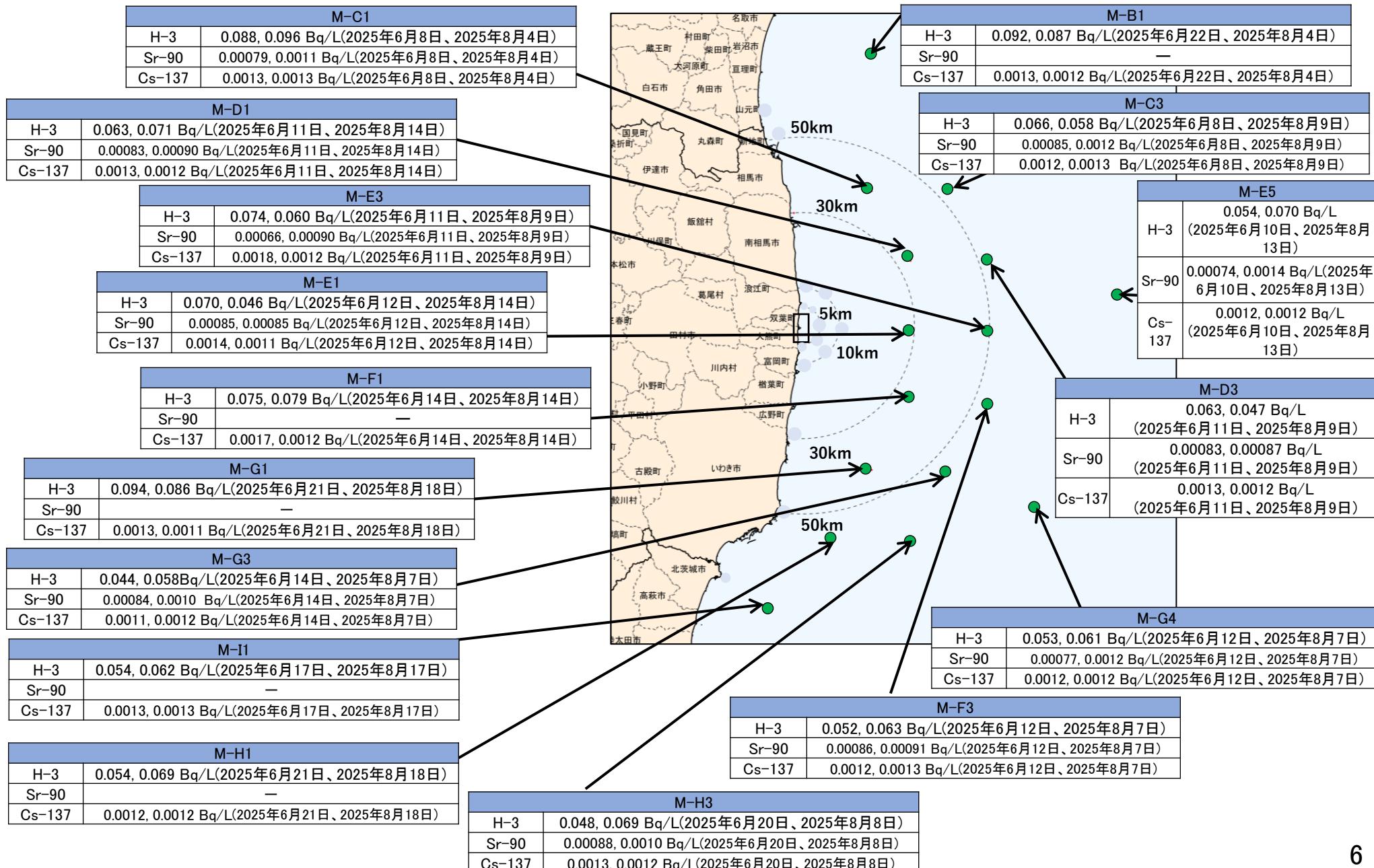
M-101	
H-3	0.072～0.78 Bq/L (採取期間:2025年4月24日～2025年8月8日)
Sr-90	0.00073～0.0028 Bq/L (採取期間:2025年3月8日～2025年8月8日)
Cs-137	0.0029～0.11 Bq/L (採取期間:2025年5月16日～2025年8月8日)

M-102	
H-3	0.11～1.8 Bq/L (採取期間:2025年4月25日～2025年8月8日)
Sr-90	0.00084～0.0021 Bq/L (採取期間:2025年3月8日～2025年8月8日)
Cs-137	0.0045～0.022 Bq/L (採取期間:2025年5月16日～2025年8月8日)

M-104	
H-3	0.068～0.84 Bq/L (採取期間:2025年4月25日～2025年8月8日)
Sr-90	0.00080～0.0012 Bq/L (採取期間:2025年3月8日～2025年8月8日)
Cs-137	0.0024～0.0065 Bq/L (採取期間:2025年5月16日～2025年8月8日)



原子力規制委員会が実施する沖合海域における海水試料中トリチウム、ストロンチウム、セシウム137濃度



(参考)原子力規制委員会が実施する海底土試料中放射能濃度のモニタリング結果

- 原子力規制委員会は、ALPS処理水の海洋放出開始前より、沖合海域(3月毎)の計32測点で試料採取し、海底土試料中ストロンチウム90、セシウム134、セシウム137、プルトニウム238、プルトニウム239,240、アメリシウム241及びキュリウム242、キュリウム243,244のモニタリング結果を順次公表している。
- 下表の値は、海底土試料中セシウム137放射能濃度の測定結果を示す。ALPS処理水の放出開始前後において、セシウム137放射能濃度は同程度であった。

<沖合海域>

(海岸線から概ね30～50km)

採取時期	セシウム137放射能濃度 (Bq/kg・乾土)
2022. 4～2023. 8	0. 60～87
以下 放出開始後	
2023. 11	1. 3～49
2024. 1	2. 4～30
2024. 5	1. 5～35
2024. 8	0. 87～35
2024. 11	0. 97～31
2025. 1	1. 7～37
2025. 6	0. 52～22
2025. 8	0. 94～33

(海岸線から概ね50～90km)

採取時期	セシウム137放射能濃度 (Bq/kg・乾土)
2022. 4～2023. 8	<0. 30～110
以下 放出開始後	
2023. 11	<0. 31～60
2024. 1	<0. 31～340
2024. 5	0. 40～46
2024. 8	<0. 29～46
2024. 11	<0. 28～52
2025. 1	0. 35～41
2025. 6	<0. 28～44
2025. 8	0. 37～64